

目標達成計画

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	事業所理念を理解し、ケア実践にいかす。	理念がケア実践の指標であることを理解し、ケア場面で理念を念頭においたケア実践ができる。	定例ミーティングでの理念の確認を行い、管理者、主任、副主任による、実践場面でのOJT(コーチング)を随時、実施していく。	1年間
2	35	日中の火災という限られた条件下での避難は可能だが、それ以外の対応力に課題が残る。	有事にも対応できる実践力を身に付ける。	火災想定だけでなく、夜間、水害など、さまざまなシチュエーションの避難訓練を実施するとともに、応急手当の方法などを学ぶ。 停電時の対応として、発電機の購入を検討する。	6か月
3	49	外出の多い人、少ない人の差が大きい。	「当たり前の生活」を念頭に置いて、外出機会の少ない人も、散歩などに出かけられるよう支援する。	ミーティングで散歩を日課にすることを検討するほか、職員間で声掛けしあい、空き時間に少しでも散歩に出かけられるような職員間の雰囲気を作り上げていく。	6か月
4	20	利用者さんのこれまでの社会とのつながりが継続できるよう努めているが、望むときに支援できないことも多い。	「なじみの人や場との関係継続」=「社会とのつながり」であること、その実現が「普通の生活」に近づくことを理解する。	日々聞かれる利用者さんの希望を、「連絡ノート」を用い職員間で共有する。また、その実現には何が必要なのかを、適時、職員間で話し合う。	6か月
5					

注1)項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2)項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。